

明德中だより

〔校訓〕 明るく 仲良く たくましく

〔学校教育目標〕 自ら学び ともに伸びる

学校通信 第5号 (令和7年9月1日)

2学期がスタート！！

始業式では、経営の神様とも言われる有名な実業家である稲森和夫さんのことばを、二つ紹介し、2学期に向けた思いを伝えました。

人生はつまるところ、『一瞬一瞬の積み重ね』に他なりません。今この一秒の集積が一日となり、その一日の積み重ねが、一週間、一ヶ月、一年、そしてその人の一生となっていくのです。

今日からの2学期には、文化発表会などの行事、部活動、進路実現への取組など、ワクワクすること、しんどいことが、一人一人にあることでしょう。今この時を大切に、目標に近づいていきましょう。

世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である。

うまくいかなかったことは、決して失敗ではなく、その方法ではうまくいかないことが分かったという前進です。一人一人が日々の授業や生活の中で、いろいろなトライをして欲しいと思います。「見通す」「やってみる」「振り返る」のサイクルで、自分で考え、表現し、「対話」をしながら、「自ら学び ともに伸びる」明德中学校を一緒に創っていきましょう。

そのためには、すべての生徒が、安心して、安全な学校生活を送ることが必要不可欠です。もし、心配なこと、不安なことなどがあれば、一人で悩まず、友達や先生、周りの大人など自分が話しやすい周りの人に、いつでも遠慮なく声をかけて下さい。

「対話ボックス（仮）」を設置

「直接話をするのは照れくさい。」「不安だ。」といった、みなさんのいろいろな思いに対応するため、新たに校長室前に鍵付きのボックスを設置しました。生徒に限らず、保護者も含め、みなさんとの「対話」の方法のひとつとして活用していきたいと思います。どんな紙でも、どんな紙でも、名前を書いても、書かなくても構いません。「直接、話をし

たい。」「他の人にも伝えて欲しい。」「すぐに対応して欲しい。」など、要望があれば、それを書いてください。週に2回程度、校長が中身を確認し、対応していきます。

呉市・キャリア・スタート・ウィーク

8月19日（火）～21日（木）の3日間、呉市キャリア・スタート・ウィークとして、2年生が地域の事業所で職場体験学習をさせていただきました。生徒たちは、仕事をされている方々の姿から、気遣いや声掛け、コミュニケーション、笑顔、メリハリ、思いやり、自分で考えることなど、仕事をする上で大切なことをたくさん学ぶことができました。また、仕事のやりがい、楽しさ、大変さなども教えていただきました。一人一人が、それぞれが大きく成長するとともに、今後の生活への決意を新たにしているところです。

御協力いただきました事業所の皆様、本当にありがとうございました。

地域の方々への感謝を込めて

7月5日（土）には「音戸の瀬戸ふれあい朝市」で、7月19日（土）には「くらはし遣唐使船まつり」で、ダンス「音戸の舟唄」を披露しました。どちらも、「体育大会等でダンスを見て感動した。ここでも、披露してもらえないか。」という声を受けて、ボランティアを募集して参加しました。終わった後、「元気があって、いいですね。元気をもらいました。」「一生懸命ダンスをしている姿がかっこいい。」といったうれしい声をたくさんいただきました。

また、7月19日（土）には、音楽部が藤脇区ふれあいサロン会で演奏を披露しました。楽しんでいただくにはどうしたらよいか考えたり、練習を重ねたりしたことで、素敵な時間を共有することができました。



校内の悩みごと等の相談窓口

校内相談窓口 0823-56-0303
（窓口担当） 松浦教頭 村上先生 高田先生
 五島先生 折出先生
（相談場所） 相談室 保健室など

9月の主な行事予定

- 1日 始業式、身体測定
- 2日 給食開始
- 5日 PTA 役員会

この窓口に限らず、一人で悩まないで、白粉が話をし、やさしい誰かに、いつでも

おおもと いちろう
大本 市郎添談室

呉市教育委員会に設置されています。

【直通電話】 25 - 5696

(つながらないときは. 25